

和歌集「乱…ギアマンの星」

多谷 昇太

この度は思いもかけぬウクライナただ晴天の霹靂たりし

ギアマンの星ごと起きし現し絵に思わず主題歌（そ）を口ずさみたり

ギアマンの星をかざしてごらんほら竜が空を飛び街が壊れる

プーチンはガラスの少尉ならずやガランスを撃ち返り血を浴びる

誰一人思わざりしか此度（こたび）のことまさかそんなこと…しかし起きた

思い給え夕餉団欒つと奪う悪魔のミサイルその無体を

地獄なり妻を子を親をわが宝すべてを奪うミサイルが降る

男征く正義の戦（いくさ）前線へ誰か知るべし彼の地に眠るを

韓衣（からころも）裾の悲しび今もかも妻子を置きてえ堪えずも征く

ウクライナ浅茅が宿の妻居らむ恋い恋いて待ち死すとも待たむ

乱とうはなにゆえ起こる誰が起こすそは平和裡の人の中の鬼

ウクライナそはネオナチか街路樹に人を縛りて打つ蹴る責める

確執と過去への恨みありぬべしさはさりながら過ぎれば難を呼ぶ

プーチンもDSとうも鬼ならむ伶俐狡猾傍若無人

彼の国はロシアは鬼か心なきか彼のトルストイ知ればさ思わず

思はず半世紀前訪いしを斯く純なる民他には見ざりし

純ゆえにツアーリに添いしコサツクごとブーチン帝に準(なぞら)いしか

神ごときさしものツアーリロマノフも幾百万兵を失させて墜つ

今ツアーリ政敵を殺め聖なりしポリコフスカヤ殺め兵を死なせば…

チェチェンもアフガン折りも若人を弾除けごとく使いしを聞く

内外にエコーチェンバー高めつつ今し冠者らは鬼を飼いおる

憎むべし統一教会韓国をヘイトスピーチ巷に充ちる

格差の世怨嗟充つる世調和失せ奢侈に傲りつ貧に喘ぎつ

Q アンノン反ワクチンとか数多出ず9・11見ればむべというもの

安倍撃たる！まさかの出来ただ啞然我らに乱を示し逝きたり

心せよ乱来たるべし三猿に潜むは難しおのがじし立て

貝殻を握り泣きおりぬアンジェリータ、ウクライナにシリアにレバノンに

少女よおおアンジェリータ愛しかり君が涙を拭くはいかにせん

反戦にいやさ御用歌人に居べきまことの立地は魂にぞある

わがこころ笑みに言葉にあらわれよ歌魂(かこん)とうは魂より出ず

※この歌集は某誌に応募して落選した歌集です。

